	第2回		横浜市港南区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 議事録			
日		時	令和7年4月2日(水) 午後1時30分から3時00分まで			
開	催場	所	港南区役所 6 階 603 会議室			
出	席	者	【選定委員会委員】 委員長 横倉 聡 (東洋英和女学院大学 名誉教授) 委員 大木 恵美子 (港南保護司会 会長) 小松 正子 (港南区食生活等改善推進員会 会長) 鈴木 智香子 (認定 NPO 法人市民セクターよこはま 理事長) 林 大輔 (中小企業診断士)			
			【事務局】 港南区福祉保健課長 中野 浩一郎 港南区福祉保健課事業企画担当係長 及川 由香里 港南区福祉保健課事業企画担当 浦田 賢、鈴木 梨紗			
欠	席	者	なし			
開	催形	態	一部非公開(指定管理者の候補者(以下、「指定候補者」という。)の選定に関する 審議について非公開)(傍聴者0人)			
議		題	 申請の経過 審査にかかる確認 (1)申請条件、財務状況評価等について (2)面接審査の進め方について 申請団体の面接審査 4 指定候補者の選定、講評 			
決	定事	項	指定候補者として、次のとおり、横浜市港南区長に報告することとする。 ○ 横浜市港南区福祉保健活動拠点の指定候補者 社会福祉法人横浜市港南区社会福祉協議会			
議		事	 事務局から、社会福祉法人横浜市港南区社会福祉協議会から申請書類の提出があった旨を報告。 			

2 審査にかかる確認

- (1) 申請条件、財務状況評価等について
 - ○申請団体の資格要件等について
 - ・事務局より資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」 に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税 納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。
 - ・事務局より欠格事由に該当しないことを報告。
 - ○本市重要施策を踏まえた申請団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評 価の説明
 - ・事務局より本市重要施策を踏まえた申請団体の取組状況、前期実績報告書について説明。
 - ・林委員より財務分析結果報告書について説明。
- (2) 面接審査の進め方について
 - ・事務局より面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。
 - ・最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

<u>3 申請団体の面接審査</u>

- (1) プレゼンテーション
 - 団体から、団体の概要、事業計画等について説明
- (2) 主な質疑応答
 - (委員)事業計画書の財務状況について、収支は黒字と記載されているが、 収支決算書などを確認すると赤字となっている。事業計画書の記載と収支 決算書の相違について説明いただきたい。
 - (団体) 収支状況について職員の配置状況や寄付の受領金額によって変動する。

新型コロナウイルス感染症拡大時、生活に困っている方へ貸付を行った際は、業務量が増え人件費の負担が大きくなった。

地域で活躍されていた NPO 法人が解散する際は、寄付金をいただいた。 いただいた寄付金を地域に還元しながら、赤字にならない運営を心掛けて いく。

- (委員) 次期指定期間について、安定した経営ができるということか。
- (団体) 市社会福祉協議会と連携しながら、安定した経営に努めていく。

- (委員) プレゼンテーションの中で NPO 法人との連携について、特に触れていなかったが、今後連携して行おうとしている取組はあるか。
- (団体) 区社会福祉協議会として、住民参加型分科会という場で NPO 法人に 参加していただき、情報交換をしている。NPO 法人は様々な事業を行ってい るので、あらゆる場で連携をして取り組んでいる。
- (委員) 職員の異動があっても、円滑に事業を進められる体制づくりができているか。
- (団体) 職員内での情報共有を定期的に行っている。日頃の情報共有のおか げで、新たな職員の配置等があっても円滑に運営できている。
- (委員) こども食堂は港南区内でどのくらいあるのか。
- (団体) すべてを把握できているわけではないが、こども食堂連絡会については、10 を超える団体が参加している。
- (委員) 港南区内在住で他区の事業所に通っている障害者に、港南区のイベント等の情報が入りにくいと感じている。より多くの人に情報が行き届くよう、啓発に力を入れていただきたい。
- (団体) 情報発信するだけでなく、きちんと受け取ってもらうための工夫が 必要だと認識している。多くの人に情報が行き届くよう、工夫をしていき たい。
- (委員) 地域の特性について、近年変化はあるか。

また、防災に対する取組について事業継続計画等を整備していると記載されているが、具体的に説明いただきたい。

(団体)新型コロナウイルス感染症の拡大は地域活動に大きな影響を及ぼし、 地域活動が休止・中止してしまったものが多くある。今後活動を再開する にあたり、改めて活動団体と話しあっていく必要あると考えている。

事業継続計画について、市社会福祉協議会と連携し、情報セキュリティの 取組等を行っている。

4 指定候補者の選定、講評

申請者から提出された申請書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

横浜市港南区福祉保健活動拠点

	申請団体	評価得点/満点	最低制限基準 得点/基準点
	社会福祉法人	919/1, 250 点	861/690 点
指定候補者	横浜市港南区		
	社会福祉協議会		

(審査講評)

- ・(委員) より多くの人に情報が行き届くよう、広報の工夫を期待する。
- ・(委員) 財務状況の健全化に向けて努めてもらいたい。
- ・(委員)人材確保、人材育成に力を入れて取り組んでほしい。
- ・(委員) 関係機関との連携を意識し、活動することを期待する。

申請者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として 社会福祉法人横浜市港南区社会福祉協議会を指定候補者として選定することを決定する。

1 資料

- (1) 評価基準加点項目に係る申出書
- (2) 前期の指定管理業務の実績報告書
- 資 料
- (3) 指定管理者の選定における市税納付状況確認の照会結果
- (4) 指定管理者の選定における神奈川県警への照会結果
- 特記事項
- (5) 財務状況評価報告資料
- (6) 面接審査の進め方について

2 特記事項

特になし